

# MSR 連続送り式グレーダー SSR-7001



## 新世代 MSR 測定器

SSR-7001 は、合板検査会の測定手法に準じて開発された MSR (Machine Stress Rating) 機で、ラミナを連続的に測定する本格的なグレーダーです。

### 仕様概要

| 型名            | SSR-7001   |
|---------------|--|
| 送材スピード        | 40 ~ 120m/min 可変 (搬送速度については別途打ち合わせの事)                |
| 荷重点変位調整範囲     | 0 ~ 20mm   |
| 支点間距離         | 1200mm ~ 1207mm (搬送角度による)                            |
| 荷重範囲          | 0.0 ~ 500.0 kgf                                      |
| 荷重分解能         | 0.1 kgf  |
| アナログ/デジタル変換速度 | 1kHz (1000 回/秒)                                      |
| ヤング係数測定間隔     | 最大 1msec (1000 回/秒)                                  |
| 測定確度          | 5% 以内  |
| 再現性           | 0.5 GPa 1 $\sigma$                                   |
| 等級選別          | 5 段階接点出力 (Option)<br>5 色 color spray による色付け (Option) |
| 測定材長さ         | 2500mm ~ 6000mm                                      |
| 測定材厚み         | 18 ~ 45mm  |
| 測定材幅          | 80 ~ 250mm   |
| 本体寸法          | W 2500mm × D 1050mm × H 1550mm (突起部除く)               |



### 測定方法

材は支点間 1200mm に挟まれている間測定をいたします。  
(支点間 1200mm はラミナ材に働くせん断応力の影響を平均的に限りなく小さい状態にして測定できる最小のスパンとなります。)  
荷重負荷面は木表(右に描かれている材料の上の面)とします。  
MSR の性能確認の為に B 試験の荷重負荷面も同じ面にします。  
材の反力は年輪の向きに対して一定の方向で測定するのが条件となります。  
向きがバラバラの場合は反りや捻じれによるデータのバラツキが大きく生じ、静的な曲げヤング係数との相関性が大きく損なわれる事となります。



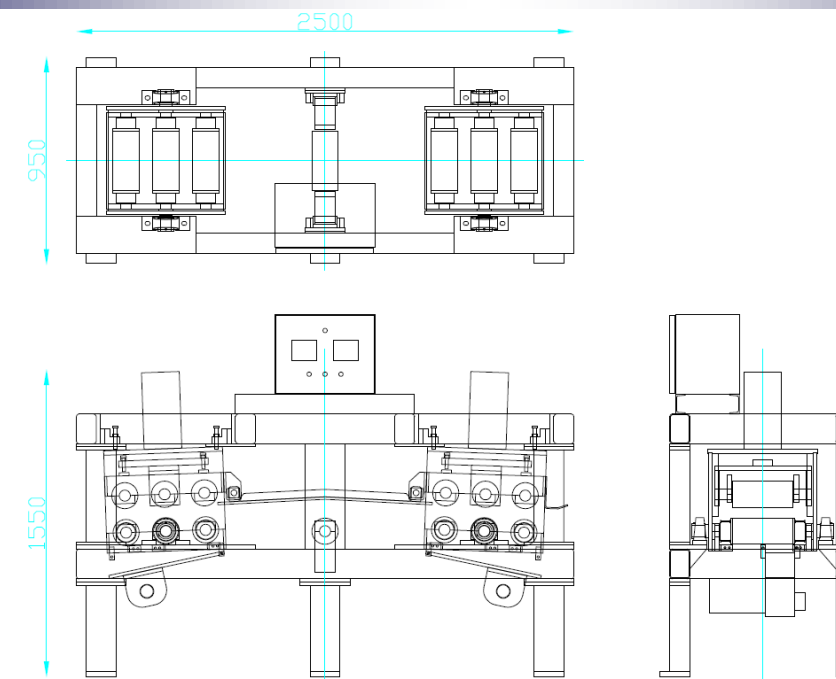
<ラミナ木口測定断面方向>  
※送材方向から見て

### 特長

- ・本測定機の最大の特徴は、支点となる搬送ローラーに、従来の固定構造ではなく、浮動式(自由に動く)の構造を用いるという画期的な方式です。  
その結果、以下の 2 つの利点が生まりました。
- 1. 測定誤差の減少  
搬送ローラーがラミナ材をしっかり挟み込み、支点部分の力がラミナ材のみに負荷されるので、外部に抜ける事がなくなりました。  
その結果、測定誤差が飛躍的に小さくなりました。
- 2. 検量線方式不要  
ラミナ材は支点と過重負荷点のみから力を受けるので、梁の曲げ理論の公式がそのまま成り立ち、樹種や寸法の違いによる特別な補正は必要ありません。
- ・本測定器は、MSR ひき板等級、機械等級区分ひき板等級の両方の測定を行う事ができます。

### 装置外形

#### SSR-7001



●カタログ記載事項は予告なく変更される場合があります。

製造・販売



株式会社 **イーティーイー**

〒114-0023 東京都北区滝野川7-11-3

TEL 03-5961-5866 FAX 03-5961-5867